



## 新たなスキー・デスティネーションとして「八甲田」の魅力をオーストラリアに発信

青森県観光交流推進課

### ■ 背景、目的

青森県では、雪・樹氷・冬のまつりなどの冬季観光資源を活用して、外国人観光客の誘致に積極的に取り組んでいます。このような中で、オーストラリアは海外出国者数が右肩上がりの増加を続け、旅行者の滞在期間が長く消費単価も高い魅力的な市場です。オーストラリアのホリデーシーズンである日本の冬季には、特にスキー・スノーボード客が、良質な雪を求めて北海道や長野などの日本のスキーエリアに大挙して来訪していることはご存じの方も多いと思います。

本県の冬季観光資源を代表する八甲田エリアは、日本屈指の積雪量を誇り、国内では樹氷やパウダースノーが魅力のバックカントリースキー（通常のゲレンデではない山スキー）の聖地として認知されていますが、残念ながらまだまだ多くの外国人スキー・スノーボード客を誘致できていない状況にはありません。

そこで、本県では、冬季における外国人誘客を図るべく、2013年度から新たに、八甲田エリアへのオーストラリア客の誘致を目指して、クレアシドニー事務所に職員を派遣するとともに、シドニーにおけるPRイベントなどのプロモーション活動を展開することと致しました。

### ■ 取り組みの内容

#### (1) 「バックカントリースキー客をターゲット」に絞り込み

新しい市場を開拓するためには、まずは市場を把握のうえでターゲットを絞り込むことが必要となります。そこで、2013年5月にシドニー市にお

いて開催される Snow Travel Expo や JNTO 主催のスキーセミナーにおいて八甲田のPRを行うとともに、現地旅行社やクレアシドニー事務所などの関係機関を訪問して市場把握とター



Expoでは一般スキーヤーにPR

ゲットの絞り込みに努めました。

残念ながら八甲田をご存じだったのはごく限られた方のみでしたが、この活動を通じて、オーストラリア客は、大規模で整備されたゲレンデを求めて家族連れやグループで行動する方ももちろん多いのですが、一方で、リピーターの中には、まだ知られていないスキーエリアに関心を示し、より魅力的なパウダースノーを求め、自然の山でのバックカントリースキーをしたいというコア層も多くなってきていることが分かり、そのニーズに、八甲田が非常にマッチすることが分かりました。

そこで、八甲田については、現状として対応が難しい外国人の家族連れや宿泊施設の近隣で日本的な居酒屋体験を求める層ではなく、真にバックカントリースキー・スノーボードを楽しみたいという客をターゲットに絞り込んで、まずは取り組みを進めることとしました。

また、オーストラリア市場では、翌冬旅行の早期特割商戦（アーリーバード）が、春から始まり

ますので、この主要ターゲットであるスキー・スノーボード客認知度向上に向けて、6月にオーストラリアのスキー雑誌「SNOW ACTION」に八甲田エリアの記事広告を掲載しました。

## (2) 青森県観光プロモーション in シドニー

～現地目線を重視するとともに他事業との相乗効果を目指す～

期 日 2014年2月13日

場 所 オーストラリア

ニューサウスウェールズ州 シドニー市

参加者 現地の旅行社、マスコミなど約50人

青森県副知事をトップとする一団を現地に派遣して、クレアシドニー事務所に協力いただきながら八甲田エリアを中心とする本県の観光資源をPRする「八甲田スノートラベルセミナー」を実施しました。

青森県の総合的な紹介に加えて、八甲田については樹氷や手付かずの深雪の中をスノーボーダーが滑り降りる映像を交えて紹介し、参加者に強いインパクトを与えることができました。また、1月末に本県へのスキー招聘事業で八甲田取材したオーストラリアの雑誌・インターネットメディア記者2人による体験を報告していただき、現地の方の目線によって優位性をPRしました。



セミナー当日の様子

また、この前の週にクレア「海外自治体幹部交流協力セミナー」でオーストラリア・ニュージーランド自治体幹部6人が本県を訪問して、冬季観光資源の体験や冬季誘客に関する意見交換をするとともに、この方々を青森県との架け橋「青豪友情大使」に委嘱したところでしたので、この「大

使」に本県の歴史・文化などの体験報告やPRをしていただきました。

終了後、イベント参加者にアンケートをお願いしたところ、セミナーの内容としてGood以上100%（excellent 70%、Good 30%、Neutral 0%、Poor 0%）と好評価をいただくことができ、八甲田の魅力をお伝えすることができたと思っています。やはり現地目線を重視するとともに他事業との相乗効果を得て総合的な取り組みとすることが大切だと実感したところです。

## ■ 成果、展望

これらの活動を通して、八甲田をはじめとする本県観光資源の知名度の向上を図ることができました。また、現地の旅行社やメディアとのネットワーク構築のきっかけとすることもできました。

これらの結果、国の宿泊旅行統計調査によると、本県を訪問するオーストラリア人延べ宿泊者数は、2013年（1月～12月）の1,090人から2014年（1月～3月）の1,960人と大幅に増加するという成果を得ており、今後のさらなる増加も期待されるということです。

本県のオーストラリア客誘致の活動は、まだ緒に就いたところです。一方で増加する外国人スキー客の受け入れ体制の整備についても一つひとつ進めていかなければならないところだと考えています。今回の成果と課題を検証しつつ、これらの取り組みで得たノウハウや現地ネットワークを活用して、今後とも継続して誘客活動を展開していきたいと考えております。

